

それを避けるため必要なことは、これまでの行政サービスをゼロから見直し、未来を創造するための施策として再構築することです。

まちだ自慢

「未来づくりプロジェクト」

「商業集積とあふれる緑」「まちの持つ雰囲気や味わい」など、町田が持つ多彩な魅力を大きく羽

2015年度の重要な取り組み

日本社会全体で、超高齢化、人口減少が進展する中、町田市の経済、市民生活、そして財政はどうなっていくのか、現在の財政状況と将来の人口構成や財政収支を見通しながら、持続可能な自治体経営のあり方を再構築し、その将来像の実現に向けた取り組みを進めていかなければなりません。

現在、地方の自治体では人口減少が進み、市役所の機能が維持できないという状況が顕在化しつつあります。何もしなければ、今、地方の自治体で起きている状況が、10年後の町田市の姿となってしまいます。

それを避けるため必要なことは、これまでの行政サービスをゼロから見直し、未来を創造するための施策として再構築することです。

日本社会全体で、超高齢化、人口減少が進展する中、町田市の経済、市民生活、そして財政はどうなっていくのか、現在の財政状況と将来の人口構成や財政収支を見通しながら、持続可能な自治体経営のあり方を再構築し、その将来像の実現に向けた取り組みを進めていかなければなりません。

現在、地方の自治体では人口減少が進み、市役所の機能が維持できないという状況が顕在化しつつあります。何もしなければ、今、地方の自治体で起きている状況が、10年後の町田市の姿となってしまいます。

2015年度の市政運営の視点

平成27年（2015年）第1回市議会定例会が開会され、石阪市長は3月2日の本会議で施政方針を表明しました。ここでは、その概要を掲載します。全文は町田市ホームページをご覧いただけます。

企画政策課 ☎ 724・2103 FAX 050・3085・3082

同時に、まちの将来のビジョンを明確に示し、将来を見据えた投資、持続可能な人口構成を保持するための若い世代を呼び込む施策、町田市の豊かな地域資源を開花させる

「地域社会づくりのプロジェクト」では、新たな地域社会の仕組みである「地区協議会」が、小山、町田第一、鶴川、木曽、相原の5地区で設立されました。地区協議会では、町内会・自治会、民生委員や、NPO等さまざまな地域の担い手が一堂に会して、地域の課題を自ら解決し、地域の魅力の向上と発信に取り組んでいます。

「団地再生のプロジェクト」では、本町田中学校と本町田西小学校の跡地に私立学校を誘致します。若年層を呼び込み、新たな交流や賑わいを創出し、団地地区を再活性化します。

「町田駅周辺のプロジェクト」では、芦ヶ谷公園を、町田駅周辺の回遊性と賑わいを創出する場、芸術の薫りある文化芸術を発信する「芸術の杜」として再整備することによって、周辺地域一帯の魅力を

子ども・子育て関連3法が制定され、子育て支援に係る制度の枠組みが変更されたことを受けて、2015年度は、子ども・子育て支援事業の大

きな転換点となる年です。

市では、「町田市子ども・

子育て支援事業計画」を新たに策定し、2015年度から

の5か年で、特に0～2歳児

の保育ニーズに対して、計画

的、集中的に事業を実施して

まいります。

この中で2015年度は、

認可保育所等の整備を行い、

138人の定員増を図り、待

機児童を解消します。

鶴川第一小学校は、来年4

月の新校舎使用開始に向けて

改築工事を進めています。改

築後の床面積は約1・7倍と

なり、多様な学習内容・形態

に対応できます。

安心して生活できるまちをつくる

安心して生活できるまちをつくる

安心して生活できるまちを

つくる

安心して生活できるまちを